

3月
定例会

No.211
2025年5月1日
滋賀県竜王町議会

りゅうおう

議会だより

未来へ
子どもたちが
羽ばたく

- 定例会報告 P2~ 新年度予算を承認
- 委員会報告 P6~ 歯科診療所の今後は
- 一般質問 P8~ 町制施行70周年に向けて
- 議会報告会 P19 世代を超えた絆づくり



まち全体で町制70周年を
盛り上げよう！

町民の皆さんが主体的に
実施される70周年記念
事業を応援します！



詳細はこちら



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025

国スポ 開催まで **150日** 竜王町 開催まで **155日**

※5月1日現在

3月定例会の あらまし

3月定例会が3月4日から27日までの24日間の会期で開かれた。
 本会議1日目（4日）に、条例14件、補正予算9件、新年度予算9件が提案された。また、当日、西田町長が「令和7年度行政執行方針」を、甲津教育長が「令和7年度教育行政基本方針」を表明された。
 本会議2日目（7日）に、条例12件、補正予算8件を可決し、条例3件は総務産業建設常任委員会に、一般会計補正予算、令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計9件は予算決算常任委員会に審査が付託された。

本会議3日目に、本会議で令和6年度補正予算の一部が可決された。
 本会議4日目に、一般質問が行われ11議員が町政をただした。

【一般質問の記事は、P8以降に掲載】
 最終日に本会議が開かれ、追加で補正予算1件が提案され、即決で可決された。また、委員会に付託された案件は原案通り可決された。
 次に、令和7年度の主な事業を各委員会での質疑とともに紹介します。【P2～5に掲載】

新年度予算を承認

町制70周年記念事業

- ・記念式典が5月25日(日)。
- ・記念巡回ラジコ体操が8月25日(月)に開催。



10年前の記念式典

まちづくり活動支援 事業

予算額 1593万円

- ・「みんなで町制施行70周年を祝う協働まちづくり活動支援事業」に対しての補助金等。
- ・平和祈念碑の整備等

※10ページに関連記事を掲載。

70周年記念 大会イベント開催！

年代問わず、町民参加の
70周年記念大会イベント
をやりたい！



英語教育の推進

予算額 597万円

- ・就学前から中学校卒業までの一貫した英語教育。各校園の連携の強化。

※13ページに関連記事を掲載。



イングリッシュキャンプ
(ワールドツアーin電王)

どうなの？

【各委員会での質疑応答】

問 派遣される*ALTの力量によって、英語力の付き方が変わると思うが、派遣業者の選定はどうされたのか。

答 本町では「読む・書く」の力が少し弱いので、この面のサポートも選定の判断とした。

*ALT…Assistant Language Teacherの略。

英語授業の補助教員として勤務する外国籍の方を指す。

(令和7年度) 一般会計総額 122億円を突破

新竜王小学校建築工事
28億2400万円
学童保育所建築工事
3億3000万円



建築が進む小学校



小口地先の集合住宅

定住・移住の促進

予算額1010万円

- ・若者（40歳未満）定住のための住まい助成事業
- ・新婚夫婦の新生活を応援するための住宅費用やリフォーム・引越し費用の助成など

農地利用効率化等支援 交付金

予算額1800万円

地域の中核となる担い手が経営改善に取り組む場合に、必要な農業用機械・施設の導入を支援する。



町民の声



西村 明夫さん
(橋本在住)

本町の福祉有償運送事業は、以前より利用者が大幅に増加していますが、支援する側のドライバーの確保が課題になっています。

誰もが気軽に外出できる社会になるように、運転ボランティアへの参加を期待します。

子育て施策の充実

地域で支える

健康・福祉でまちづくり

住民福祉部門（住民・福祉・健康推進・自立支援課）の連携

子ども家庭センター の設置

予算額2973万円

町内に居住するすべての児童、妊産婦等を対象に、児童福祉と母子保健の効果的で切れ目のない継続的かつ包括的な支援。



病児保育事業の実施 (竜王子ども園)

予算額567万円

保護者の就労や疾病等の理由により、自宅で保育が困難な場合に対応。
※11ページに関連記事を掲載。



いつまでも元気でい られる地域づくりの 推進

予算額9446万円

・りゅうおう健康ベジ7チャレンジの推進

7つの取組

- ① 健診受診の促進
- ② 栄養・食生活
- ③ 運動・身体活動
- ④ 歯と口腔
- ⑤ たばこ
- ⑥ アルコール
- ⑦ こころの健康づくり

野菜350g
(二日)

- 塩分量 7g未満
- ・各種がん検診や予防接種
- ・ふれあいプラザの活用等



福祉ステーション の改修

子ども療育事業所

「たっぴー」の移転整備

予算額8053万円

令和8年度の開所を目指して準備をする。



どうなの？

〔各委員会での質疑応答〕

問 国民健康保険税の軽減対象となる世帯数と人数は。

答 国保税の均等割りに対して7割、5割、2割の軽減制度があり、令和6年度の実績として、全体で640世帯、1015人の方がいずれかの軽減対象となっている。

スポーツ拠点設備等の整備

国民スポーツ大会の開催

人口減少・少子高齢化に対応

自治会活動の維持継続



ボルダリング競技の様子（令和5年鹿児島国体）

町総合運動公園で、スポーツクライミング協議会のリハーサル大会が6月7日（土）、8日（日）に、本大会が10月3日（金）～5日（日）の3日間開催される。
種目はリード、ボルダリングの2種目で、全国から103チームが参加予定。

第79回国民スポーツ大会開催準備事業

予算額3億8504万円

運動公園整備運営事業

予算額2億7396万円

- ・ドラゴンハット屋根・照明の改修
- ・祖父川公園（グラウンドゴルフ広場）の維持管理。



どうなの？

〔各委員会での質疑応答〕

問 祖父川公園維持管理業務委託料810万8千円の内訳は。

答 芝の刈込および除去処分、水やりや施肥・土入れなどに必要な経費、トイレの汲み取り代などである。

町民の声



地域おこし協力隊
吉田健一さん
（薬師在住）

秋に少し時いたソラマメの花が咲き始めました。無事収穫できましたら、町民の皆様にご紹介したいと思います。その他にも、田んぼの生き物調査など、今年も「農」に関連したサービスを少しずつ増やしていければと考えています。

近年、新たな働き方として、「半農半X」が注目されており、新規就農者数を増やすチャンスにもなり得ます。そのための土台作りを進めるべく、頭と体を使っ日々が続いています。

竜王の空き家対策はどうなっているの？

総務産業建設常任委員会は3月10日に所管事務調査を行い、空き家対策の取組状況と課題について説明を受けました。

調査 空き家対策の取組み状況と課題は

●空き家の状況は

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件数	172件	158件	155件	156件	159件

*毎年、自治会長を通じて6月～9月に行なっている実態調査の結果、この数年は横ばいで推移し、特定空き家（管理が行き届いていない空き家）はない。

●取組の状況

- ①空き家等の発生予防・抑制・適性管理
 - ・空き家問題に対するセミナーの開催
 - ・固定資産税納税通知書送付時に啓発チラシ同封
 - ・住宅ストックの良質化の為、耐震診断と改修補助
 - ・相続登記義務化（令和6年4月）の周知
- ②空き家等や跡地の利活用
 - ・空き家・空き地情報バンクの開設（令和3年11月）
現在の登録状況は、物件登録0件、利用登録5件
- ③移住定住施策
 - ・地域おこし協力隊（4名を受け入れ）
 - ・竜王町若者定住のための住まい補助金
- ④未実施事項
 - ・住宅用途以外での利活用
 - ・物件登録がないことによるマッチング
 - ・空き家所有者や町及び町民等の協働の取組

●課題

- (1) 都市計画法（市街化調整区域）による利活用の困難性
- (2) 物件登録の掘り起こし
- (3) まちづくりと連動した空家等対策
- (4) 上記課題を踏まえた実効性のある空家等対策計画の改定



議会改革の取組

議会改革特別委員会を3月12日に開催し、議会改革の諸事案等の報告と議論を行いました。

(1) こども議会の開催は

- こどもまんなか会議は令和7年7月下旬に開始し、その最終報告とするこども議会は12月に開催する。
- 子ども達に募集チラシを6月中に配布し、公募を行う。

(2) 町の防災計画と議員の役割

議会の業務継続計画の作成が必要で次回までに素案を準備する。

(3) 議員のなり手不足の原因は

- ①なり手に響かない3条件（やりがい・環境・待遇）
- ②地域コミュニティの限界（地域社会特有の原因）
- ③立候補・選挙制度等における障壁

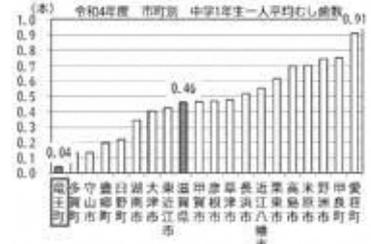
国保歯科診療所の今後は！

2月5日の教育民生常任委員会において、国民健康保険診療所（歯科）のあり方について所管事務調査を実施しました。

調査 竜王町健康保険診療所（歯科）のあり方について

現在の施設は昭和52年建築、築48年で老朽化が進み、今後のあり方について、国民健康保険運営協議会部会で検討がなされている。なお、この施設では子どもから高齢者などの歯科保健の取り組みもされており、かつて本町は子どものむし歯が多い町であったが、フッ化物洗口など様々な取り組みによって県内一むし歯の少ない町となった。

以下に、現状と部会での今日までの検討状況について報告する。



▲[参考]県内一人平均むし歯数の状況について(令和4年度データ)

1. 患者の状況 (R1～R5)

≪受診状況≫

年間延べ外来者数	6,000人
1日あたり	26人

≪介護サービス利用状況≫

利用件数(年平均)	約115件
利用件数(月平均)	約9.6件

2. 経営状況 (R1～R5)

診療収入(年平均)	4,500万円
介護サービス 利用収入(年平均)	82万円
決算状況(年平均)	400万～500万円(黒字)
基金(R6.5末)	約4,870万円

3. 患者アンケート結果



長年通っており、小島先生を頼りにしている



引き続き通院したいと思っている

4. 「診療所のあり方検討部会」の集約

- ・今の歯科の医療体制を維持していくためには行政で歯科保健事業を継続する必要があることから、建て替えに賛成する。
- ・将来の住宅建設を見据えて、今ある場所の付近がよい。

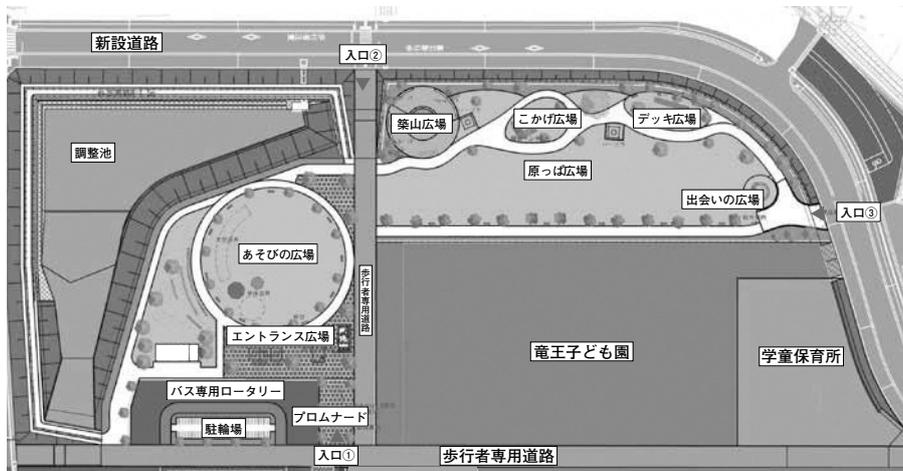


検討が進む歯科診療所

交流・文教ゾーンの公園整備構想は！

3月12日に地域活性化特別委員会の所管事務調査において交流・文教ゾーン整備の進捗について説明を受けました。

- 公園整備は、町民ワークショップ等を経て令和7年度は公園実施設計に向けて進められている。
- 竜王小学校建設工事は、1月より建築工事に着手、令和8年度開校を目指している。



公園整備の構想図

* 「交流・文教ゾーン」整備スケジュールの見直し

町は、現在の社会情勢や物価高騰等により各施設の整備計画の検討を行い、一定のスケジュールの見直しを行っている。

町政 ここを問う!

3月定例会では11議員が25問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

	質問者	質問事項
9	鎌田 勝治	・児童育成支援拠点事業の取組は ・放課後等デイサービス施設開設へ向けた取組状況は
10	磯部 俊男	・令和7年度の带状疱疹ワクチン事業は ・町制施行70周年に向けて
11	大橋 裕子	・竜王中学校の今後は ・「病児・病後児保育の取組」の進捗状況は
12	中村 匡希	・消防団員の休団制度と運転免許問題への対応は ・ボランティアポイント制度と「ビワコ」導入は
13	森島 芳男	・これからの農業に対する町の考え方は ・英語教育推進事業は
14	澤田 満夫	・町道山之上岡屋線のバイパス化は ・希望が丘公園の東口付近の整備は
15	橘 せつ子	・PFASの河川調査結果に基づく原因解明を ・訪問介護の基本報酬の引き上げと事業の充実を ※農地集約化と圃場整備のあり方は ※2025年度の国民健康保険税はどうなるのか ※滋賀県教育委員会の「滋賀・体験の日」の導入を受けて
16	内山 英作	・空き家を活用した移住促進は ・竜王町北東部の拠点整備は ※町立図書館の機能強化と他施設との連携は ※町内自転車道の整備は大丈夫か
17	若井 政彦	・平和行政について ・子育て支援施策の充実は
18	山田 義明	・ふるさと納税の持続的な取組は
	三宅 政仁	・漏水事故の再発防止は

※紙面の都合上、掲載しておりません。

QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ

次回の一般質問は
令和7年6月19日(木)予定

議員の質問順と質問事項は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713



近江うし丸



かまだ 鎌田 かつじ 勝治 議員



問 児童育成支援拠点事業の取組は

答 庁内で十分に調整のうえ前向きに進める



地域総動活動拠点（ひだまり学舎）

①子どもが家庭や学校以外でも心地よく過ごせる場となっており、価値ある事業と評価して

問 現在、法人が休眠預金を活用した地域総動事業を展開しているが、次の2点を伺う。
①当事業の評価は。
また、国が示す児童育成支援拠点事業の補助金対象の要件を満たしているか。
②児童育成支援拠点事業を推進するために町として同法人に対する支援は。

いる。
また、不登校児童や学校生活になじめない児童も対象となり、同法人が取り組んでいる子どもの居場所づくりは要件を満たしていると思われる。
②公平な観点から、広く他の事業所の参入も視野に入れて、令和7年度に事業見込み調査を実施する。
事業の活用については、財政担当課や教育委員会と十分に調整したうえで前向きに進めたい。

答 放課後等デイサービスの運営方法や設置場所等について、庁内で協議を重ね、町内で同サービスの実施を希望しているNPO法人と情報交換する中で令和6年10月末に意向も確認した。
町内のほとんどが市街化調整区域であり都市計画法上の制限がある。事業を実施する場所の確保が大変厳しい状況であるが、同施設の必要性は認識している。

問 令和5年第3回定例会一般質問での答弁で町内に放課後等デイサービスの施設は必要との見解であったが、その後の進捗は。

問 放課後等デイサービス施設開設へ向けた取組状況は

答 候補地を取りまとめて実現に向けて対応したい

まずは町内での候補地を取りまとめながら、実現に向けて対応していきます。



放課後等デイサービスルーム

問 令和7年度の带状疱疹ワクチン事業は

答 個別接種を4月1日の実施で調整する



いそべ 磯部 としお 俊男 議員

問
① 令和6年度ワクチン接種事業の実績は。
② 厚生労働省の令和7年度のワクチン接種事業の概要は。

答
① 令和6年度の予防接種費用助成の実績は、2月末時点の申請状況は、実人数116名、接種延回数171回分となっており、年度末までの申請延回数は190回分と見込んでいる。
② 対象者は当該年度内に65歳を迎える人、もし

くは60歳から64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な人と定めている。
また、令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人も対象となり、さらに、令和7年度に限り、100歳以上の人も対象としている。

町内および県内の委託医療機関での個別接種を4月1日の実施で調整する。



带状疱疹ワクチン

問 町制施行70周年に向けて
答 70周年を記念するイベントを行う
団体等に活動の支援を行う

問
① 「協働まちづくり活動支援事業」の内
容は。
② 今日の竜王町の発展の礎を築いて来られた名譽町民への対応は。

5分の3以内で限度額3万円を交付し活動の支援を行う。
② 名譽町民の称号は町の発展等に貢献し、住民の尊敬と仰がれる方に対して贈られるものである。
ある。
県内半数の市町が名誉市民条例を制定しており、これを機に本町での制度創設に向け検討を進める。

答
① 本事業は町制70周年を共に盛り上げる活動を行う町内の団体等に対し、事業に係る経費に補助するもので、現在募集中である。
70周年を記念するイベントに対しては、補助率5分の5以内で限度額10万円。70周年を契機に新たに開始される事業には、補助率5分の4以内で限度額20万円。既存の事業に70周年の冠称をつけて行う事業には、補助率



記念ユニフォーム



おおし ゆうこ 議員
大橋 裕子



問 竜王中学校の今後は

答 長寿命化の時期を見定める



まもなく築50年を迎える竜王中学校

問 竜王中学校の校舎は昭和54年に建てられ、数年後には築50年を迎える。町は中学校をどのように対応するのか。

答 改修工事は令和8年度に校舎のトイレを行う。体育館の空調設備を踏まえた長寿命化については竜王西小学校の体育館

の長寿命化の後にを行う予定で、空調設備臨時特例交付金を積極的に活用していく。

また、体育館は災害時には避難所となる。耐災害性の向上を図る観点からエアコン設置をどうするのか。

また、体育館は災害時には避難所となる。耐災害性の向上を図る観点からエアコン設置をどうするのか。

また、体育館は災害時には避難所となる。耐災害性の向上を図る観点からエアコン設置をどうするのか。

また、体育館は災害時には避難所となる。耐災害性の向上を図る観点からエアコン設置をどうするのか。

問 「病児・病後児保育の取組」の進捗状況は

答 令和7年度中の実施をめざす

問 令和6年第2回定例会一般質問において、「病児・病後児保育の取組」について伺った。町からは本町の実情に即した保育施設が確保できるよう、前向きに取り組むとの回答を得た。

答 前に医療機関の受診が必要となり、町内医療機関に協力を依頼している。今後、近隣の実施事業

問 令和7年度予算で計上し実施をめざしている。竜王子ども園の余剰保育室を活用し、定員3名で実施する方向で調整している。

答 職員は、会計年度任用職員の保育士1名を雇用し、看護師は町内医療機関から1名派遣の方向で調整している。病児保育の利用には事



病児・病後児保育のモデルルーム

問 消防団の休団制度と 運転免許問題への対応は

答 必要性は認識しており消防団と協議し進めていく



なかむら まさき
中村 匡希 議員



制度面・設備面の改善が求められる

問 社会環境や免許制度の変化で消防団を取り巻く状況は大きく変わりつつある。

① 団員の休団制度の必要性は。

② MT免許保有者でもクラッチ操作に習熟する機会は減っている。今後の消防団の車両導入は。

③ 平成29年以降の自動車免許取得者は、本町の消防ポンプ車の運転に「準中型免許」が必要になるが、取得助成は。

答

① 休団制度は長期の出張、育児等で退団せざるを得ない団員の退団防止につながるため、必要性は認識しており、消防団と協議をしていく。

② 現在の消防ポンプ車の更新時期に合わせてAT車の導入を考えている。

③ 今後は改正後免許の団員が増えることから、消防ポンプ車を適正に運行できるよう、取得補助制度導入に向けた検討を進めていく。

答

① これまで先行自治体の事例をもとに検討したが、制度の運営や管理にかかる労力等を比較して本町には馴染まないと感じた。

② 令和7年度は観光分野において「ビワコ」の事業に取り組み、まずは町内のお店や企業、

問 人口減少や高齢化とともにボランティアの担い手不足や参加意欲低下が課題となっている。

① 溜まったポイントを商品券などと導入できるボランティアポイント制度の導入の可能性は。

② 地域通貨「ビワコ」による若年層を中心としたボランティア推進策の見込みは。

問 ボランティアポイント制度と「ビワコ」導入は

答 ビワコは今後周知を図る

団体を紹介することで制度の周知を図る。それによって魅力ある

資源や取り組みが地域内外の人とつながることを期待する。



若年層のボランティア参加向上が期待される地域通貨「ビワコ」



もりしま よしお
森島 芳男 議員



問 これからの農業に対する町の考え方は

答 補助事業を活用できるように要望する



「地域計画」とは、
農業者の減少が進む中、農地を
後世に残し、農業を効率的に営
むため将来の農地利用について
話し合い、目指す姿を具体化す
る計画のこと。



豊作を願いながらの、田植え作業

問 しが竜王グッド
サークル農業構築のため
の5つの戦略を立て
取り組んでいると認識
している。次の3点に
ついて伺う。
①上位計画の連動性につ
いての考え方は。
②集落の話合いにより
地域計画を策定し農
業を守るとされたが
現状は。
③農業経営継続のため、
行政の補助がなければ
運営できないと聞き及ぶ。
これらの問題点は。

答
①竜王町農業振興ビジョ
ンの改定を見据えなが
ら対応していく。
②27集落全ての地域にお
いて策定が完了する見
込みである。策定して
終わりではなく、地域
農業の持続的発展に向
け話合いの継続は必要
と考えている。
③農業経営基盤の強化に
ついては、国等の補助
事業の活用は重要な要
素となるので、機会あ
るごとに見直しを含め
た要望に努める。

問 「竜王町教育委員
会の権限に属する事務
の管理及び執行状況の
点検および評価にかか
る報告書」内の二次評
価によると、「町内の
全児童生徒を見ても
と、興味関心が今一つ
といった子も多く、そ
の成果が一部の子に
偏っていないかを懸念
している」と記されて
いる。この評価につい
ての見解は。



外国人指導助手（ALT）や日本人英語教員による授業

答 英語スピーチ大会の
開催など、英語を親しむ
機会の創出に努めてきた
が、児童生徒の英語への
興味関心を高める第一義
は英語の授業改善が何よ
り大切である。
外国人指導補助（AL
T）や日本人英語教員を
一層活用しながら、楽し
くわかる英語授業を目指
し教育委員会と学校とが
連携を密にして取組を進
める。

問 英語教育推進事業は 答 児童生徒の英語力の向上を目指す

問 町道山之上岡屋線の バイパス化は

答 道路整備は周辺事業の進捗に併せ
検討する



さわだ みちお
澤田 満夫 議員



町道山之上岡屋線の現行動線（破線）
バイパス化コース（実線）

問 岡屋口交差点を支点に、町道山之上岡屋線から春日竜王線へ左折する際は、鋭角であり、非合理的且つ危険である。大手自動車会社の西門付近を目指し直線コースにすべきでないか。

答 岡屋口交差点は、町道山之上岡屋線、岡屋山之上線、県道春日竜王線が交差し、左折右折ともに少し窮屈な状況にある。当該交差点は朝夕の時間帯に渋滞が発生して

いたことから、令和5年度に県東近江土木事務所に県道春日竜王線中の右折レーンを延伸し、交差点改良を行っていただいた。
近隣周辺には、産業用地の候補地や町バイオマス産業都市構想に係る候補エリアもある。両事業は推進しているものの、現段階では、まだ不確定な状況である。必要な道路整備については、両事業の進捗に併せて検討していきたい。

希望が丘文化公園活性化方針が令和6年に策定された。この機会に東口付近を公園の玄関に相応しい姿に整備するよう要望すべきではないか。

問 希望が丘公園の東口付近の 整備は

答 野洲市・湖南市と連携して
取り組んでいく

問 希望が丘文化公園活性化方針が令和6年に策定された。この機会に東口付近を公園の玄関に相応しい姿に整備するよう要望すべきではないか。

答 公園の東口への交通アクセスの現況は、名神高速道路のボックスに隣

接したカーブが有り危険である。また、善光寺側の源流地であることも含め土地の形状を変更することは困難でもある。
これに対し、本町では、公園の活性化により来園者も増加することも考慮し、現在、県に交通安全対策を要望している。併せて、「公園内の園

内道路の活用」と、町内の大型商業施設、総合運動公園、道の駅等の「集客施設との連携による東ゾーンの魅力向上」についても要請している。
今後本町のみならず野洲市や湖南市と連携して取り組んでいく。

東口と西口の比較



東口 道幅が狭く暗いイメージ



西口 道幅も広く植林され明るい



橋 せつ子 議員



問 PFASの河川調査結果に基づく原因解明を

答 現時点で発生源に関する調査は考えていない



PFAS調査で19ng/Lの祖父川

問 本年1月に町実施のPFASの環境調査で、3河川の調査結果は善光寺川16ng/L、祖父川19ng/L、中津井川5ng/Lであった。善光寺川と祖父川は、日野川の2022〜23年度調査の11〜15ng/Lより高くなっており、より汚染されている状態である。まず汚染源調査をするべきではないか。

答 調査結果は、3河川とも国の暫定目標値50ng/Lを下回り、県の判断基準値35ng/L未満となっているため、現時点での発生源に関する調査は考えていない。

また、次年度以降も町内河川の調査は実施するが、地下水は県が「公共用水域・地下水水質測定計画」に基づき実施されている調査である。

そのことから町独自の調査は計画していない。

問 訪問介護の基本報酬の引き上げと事業の充実を

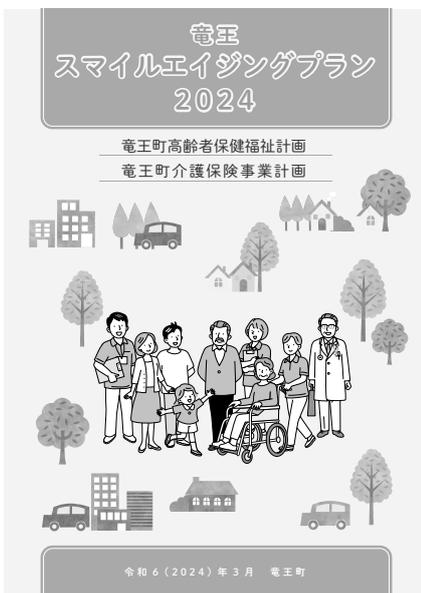
答 訪問介護の必要な方にサービスは提供されている

問 昨年全国の介護事業の倒産・休業は過去最多で、うち訪問介護事業所が約7割を占めた。基本報酬の引き下げやヘルパー不足が影響かと報道されたが、竜王町の事業所について次の点を伺う。

- ① 竜王町社会福祉協議会運営の事業所はいくつから休止となったのか、その理由は。
- ② 今後の訪問介護事業全般について、また休止の事業所の再開等の見通しは。
- ③ 町独自で介護保険基金を活用し、基本報酬減額分の補填など必要では。

答

- ① 職員の定年退職により、求人活動を行ったが、人材が集められず、令和6年12月に休止となった。
- ② 人員確保の見通しがないうち、難しい状況である。現在運営の3ヶ所の訪問介護事業所に継続して頂けるよう課題を共有し、新規参入の事業所の確認をする。
- ③ 訪問介護事業の人材の確保定着を図り、サービス提供の基盤強化を目的に、一号保険料を財源とする市町村特別給付費の導入等、次期の介護保険事業計画策定時に研究したい。



介護保険事業計画2024 (表紙)

問 空き家を活用した移住促進は

答 農村環境での暮らし実現への魅力発信



うちやま えいさく
内山 英作 議員



再生されたガウディハウス（広島県尾道市）

問 近年の人口減少、地域の荒廃が進む中、空き家は地域資源として移住や定住促進に向けて活用が期待されている。

- ① 先日、尾道市の「NPO法人尾道空き家再生プロジェクト」を訪問し研修してきた。そこで、次の3点を伺う。
- ② 本町の令和6年度の空き家の数は、
- ③ 本町の空き家バンクでの登録件数は、

答 ③ 空き家を活用しての本町への移住促進の考えは、

- ① 159件。
 - ② 物件登録0件。
 - ③ 利用者登録5件。
- 空き家利活用の最大のポイントは、空き家そのものを地域資源として捉え、リフォーム等によりその資源を磨くことで農村環境での暮らしの実現および魅力を発信できると考えている。

問 竜王町北東部の拠点整備は

答 ハード・ソフトの両面から支援を継続していく

問 本町の北東部は、日野川沿いにいくつかの集落が点在し、弓削地先には医療福祉施設や酒蔵、JAなど、複数の企業がある。

答 日野川改修で行われる予定である蛇行の改良により生じる河川の跡地を、地域振興に資する土地利用として、県と連携して推進したい。

また、県道近江八幡竜王線のバイパス整備後は、道路沿道において地域活性化を図るため適切に開発を誘導したい。

中心核とのネットワークの中で、この地域の拠点整備としての具体的な計画は、生活拠点である自治会を維持するため、ハード・ソフトの両面から支援を継続していきたい。



将来都市構造図（第六次竜王町総合計画より引用）



わかい まさひこ
若井 政彦 議員



問 平和行政について

答 戦争の教訓を引き継ぐ努力が使命



恒久平和を祈る平和式典

問

- 核兵器廃絶の意義についての見解は。
- 総合計画へどう活かすのか。
- 取り組みの具現化と施策の拡充は。

答

- 核廃絶をめざし、平和の尊さと核兵器使用の悲惨さを訴え、引き続き恒久平和の実現に向けて取り組む。
- 総合計画の基本理念の

実現は、平和なくしてありえない。現状の課題に向き合い努力することが重要であり、庁内で議論したい。

- 平和祈念式、平和パネル展、小中学生による平和学習など取り組んできた。一人ひとりが平和への関心を持ち、二度と戦争をおこさないという教訓を次世代に引き継ぐ努力を続けることが使命と考えている。

問 子育て支援施策の充実

答 様々な支援施策について研究する

問

- 満1歳まで『おむつ宅配』による訪問・見守り事業で、不安や悩みに寄り添う伴走型支援は。
- 小中学生の制服・標準服の必要性和無償化は。
- 2歳児までの保育料の無償化は。

今後、保護者等の意見を踏まえ、各校での検討を働きかけていく。現時点では無償化は考えていない。

- 国や県、県内他市町の

答

- 4ヶ月乳児へ出産祝いとしておむつを持って産後ママのケア訪問事業を行っている。
- 中学生の制服は、統一感、機能性・耐久性などの観点から必要と考え、学校が指定している。

小学生の標準服は、保護者と各校で協議し定めているが着用率は低い。



おむつを届ける訪問事業

問 ふるさと納税の持続的な取組は

答 新たな加工業者の誘導等で返礼品を拡大する



やまだ よしあき
山田 義明 議員



一番人気の近江牛ハンバーグ

① 7年度予算は10億円を見込むが、6年度の実績が15億円なので、同水準あるいはそれ以上の額になるよう取組

④ ふるさと納税型クラウドファンディングが採用できないか検討する。

問 ① 令和7年度のふるさと納税寄附金額の目標は。
② 現状の返礼品の取組は。
③ ふるさと納税の使途は。
④ 特定の事業に支援できるクラウドファンディング的な取組は。

② 多くの事業者等に提供依頼し参画いただいている。さらに寄附金額を伸ばすため返礼品開発や供給量の増大、加工業者を誘導する等返礼品の拡大に取り組む。
③ 条例で寄附者が指定できる6事業を規定している。基金に一旦積み立て、寄附者が指定する事業に充当している。
④ ふるさと納税型クラウドファンディングが採用できないか検討する。

問 漏水事故の再発防止は

答 手順書の作成や、県・市町との情報交換を行う



みやけ まさひと
三宅 政仁 議員



送水管に約5cmの穴が開き漏水が発生した

問 令和6年12月19日に起こった送水管からの漏水事故で一時的な断水と濁り水が発生。漏水原因が劣化か人為的な操作ミスによるものなのか不透明である。そこで次の点について伺う。
① 管路更新計画は遅れていないのか。
② 操作ミスであればなぜ起こったか。
③ 再発防止策は。

① 令和元年策定の計画から遅れている。要因は計画策定時に想定できなかった物価高による調整や県との施工調整に時間を要したためである。
② 山中配水池防水工事に伴い、県の手順書はあるが経験に頼ったバルブ操作を行い発生した。
③ 再発防止策として、滋賀県企業庁と連携を密にした事前準備と町独自の手順書を作成の上で経験に頼らない作業を行う。

世代を超えた絆づくりをめざして地域貢献 任意団体 Lullaby (ララバイ) との 議会報告会

若者世代から見える竜王町

◎良いところ

1. 自然豊かで安心して暮らせる。
2. 互いに挨拶が交わされる温かみがある。
3. 子育てがしやすく、福祉にも手厚い。

◎悪いところ

1. 都会の華やかさや躍動感が無く刺激がない。
2. 竜王町の発展にアウトレットが活かされていない。
3. 商業・遊戯施設が少なく、楽しみや遊ぶ所がない。
4. バスの便が悪く、気軽な交通手段は自家用車だけである。

Lullaby
instagramはこちら



ふるさと竜王町への期待や想いは

1. 竜王町が好きで住み続けたい。
2. 青年団活動も衰退気味なので、今後、若い世代が活動できる場として盛り上げたい。
3. 若者に対して好意的な町環境を考えれば、もっと活動できる。
4. 住もうと思える魅力やメリットの紹介および町の圧倒的な強みや取組を、SNS等で更にPRすべきである。

2月21日(金)に竜王町防災センターで、任意団体ララバイの会員皆さんと議員との懇談会を開催しました。

この団体は、大学生を中心に令和6年4月に設立し活動しています。目標は、「若者にとって竜王町を魅力的なまちにしたい」と、「町内外の仲間の繋がりがから、新たな「コミュニティを形成したい」としています。手始めに、竜王町公民館で「こども食堂」を開催し、町内の多数の子どもたちに食事を提供し交流しています。将来は、多世代交流を目指しているという事です。

ララバイの活動の課題

1. ララバイでは、年齢的に横の繋がりはあるが、縦は弱い。
2. こども食堂が、小学校区単位で開設できればと考える。
3. こども食堂は、子どもや親子だけでなく、老若男女の方に来て欲しい。
4. 食材確保のための経費は限られ、食料の確保自体も課題である。

議会の受け止め

持続可能な住みやすい竜王町への取組には、ララバイの活動が必要であり、更に拡がることを願いたいものである。

人のつながりも弱くなっている現在、こども食堂（それらに代わるものを含め）活動が、町内各地域に根を張るようになれば、地域のコミュニティの基盤づくりにも大きく寄与することになる。

今後は、若者の意見および感性を真摯に受け止め、町として支援することは、将来のまちづくりに繋がる。議会としても、この懇談会を契機に活動状況を見守り応援していきたい。



子どもたちの成長のために

当会議は「たくましく育てよう竜王っ子」をスローガンに活動しております。

7月「少年の主張大会」。7・11月環境浄化活動。9・3月広報誌の発行。また、毎月小中学校・こども園にて「挨拶運動」を行っています。さらに、長年支援活動を行っておられる方々に感謝状を贈っています。現在、新しい小学校や公園の整備が進められていますが、ハード面もさることながらソフト面での充実がより一層求められています。当会議では、地域と子どもたちが密にかかわることが必要と考え、その第一歩として皆さんに子どもたちと挨拶を交わすことをお願いした

竜王町青少年育成町民会議 会長 白井 磯治
いと思います。「おはよう、こんにちは」とぜひ気軽に声をかけてください。挨拶からコミュニケーションを図り、子どもたちの健全な成長を進めるため益々のご理解、ご協力をお願いします。



竜王中学校での朝の立ち番

表紙

未来へ羽ばたく子どもたち

3月22日、竜王町岡屋のひまわり保育園で第40回卒園式が行われました。子どもたちは先生や友だちとの別れを惜しみつつ、たくさんの思い出を胸に、新たな未来へと羽ばたいていきました。

先生方や保護者の方々も、ハンカチを手に涙を静かに拭いながら、優しい眼差しで子どもたちを見守っていました。

園児たちは一人ひとり将来の夢を発表しました。サッカー選手、野球選手、キーキ屋さん、お花屋さん、アイドルなど様々な夢がありました。この記憶深い一日が、子どもたちの明日を彩る第一歩となることを願っています。



編集後記

本年、竜王町は町制施行70周年の節目を迎えます。

5月25日には町公民館で記念式典が開かれます。多くの皆様と70周年をともにお祝いする機会となることを願っています。

また、私たち町議会は議員のなり手不足の解消等を議論しています。少子高齢化などの影響もあり、近年は議員に立候補する人材が減っています。より多くの方々になり手となつてもらえるよう考えてまいります。

初夏の訪れを感じるこの季節、どうか御自愛ください。記念式典でお会いできるのを楽しみにしております。

議会広報特別委員会

- 委員長 内山 英作
- 副委員長 橘 せつ子
- 委員 中村 匡希
- 委員 大橋 裕子
- 委員 澤田 満夫
- 委員 磯部 俊男